

しぜん通信

森で生きるなかまたち

エコパの森の中で暮らす生き物たち。
その命をつなぐために、様々な行動をしています。
その様子を少しのぞいてみましょう！



◆ カエルの卵 ◆

ちょっとした水たまりをのぞいてみると、ふわふわした丸い物体が。何かの卵っぽい…。これはアカガエルの卵（卵塊）です。早ければ1月下旬ごろから見る事ができます。

黒っぽく見えるのは、熱を吸収しやすいようになっているからだそうです。

卵の周辺で肝心の親の姿は見かけません。冬眠から起きてきた親ガエルは、産卵を終えるとまた冬眠に入ります。天敵が少ないこの季節に産卵を済ませるのでしょう。



◆ イノシシ ◆

イノシシはエコパ周辺に生息していませんでしたが、15年ほど前からどこからともなく現れ、今ではすっかり定着しています。最近では、イノシシの被り物をしたアニメキャラクターも登場し、ますます身近に感じます。(?)

少し迷惑なのが掘りかえしです。朝になるとそこらじゅうが掘られています。冬になると山の中に食べ物が少ないのか、スタジアム周辺の芝生も掘りかえされています。人間にとっては少し迷惑に思えるこの掘りかえしも、自然界では「耕す」ことになり、土の中に空気を送り込むこととなり、土の中の環境をよくすることにつながります。

イノシシはびっくりして人に突進してくることもあるので、ご注意ください！



フィールドサインを見つけよう！

イノシシは夜行性なので昼間はほとんど姿を見せませんが、フィールドサイン（生き物の痕跡）を見つけることはできます。



他にも、足跡や
ぬた場（水辺の泥あみ跡）

など…

